

## 平成29年度ごみゼロやまがた推進県民会議産業部会議事録

### 《日時》

平成30年3月1日（木）13時30分～14時35分

### 《場所》

山形県庁 1002会議室

### 《出席委員》（※会長以下委員名簿順）

鈴木喜代壽委員（会長）黒澤利宏委員（部会長）、安喰邦男委員、伊藤和彦委員、澁谷忠昌委員（代理：一般社団法人山形県建設業協会 専務理事 佐原伸児）、庄司里沙委員、丹野善将委員（代理：山形県環境整備事業協同組合 細川江里子）、長谷川正芳委員、星川務委員、保科なお子委員、山口隆子委員

### 《産業部会》

#### 1 開会

#### 2 あいさつ

黒澤利宏委員（部会長）よりあいさつ

#### 3 議事（座長：黒澤委員（部会長））

##### (1) 報告

- ① 第2次山形県循環型社会形成推進計画（ごみゼロやまがた推進プラン）  
平成29年度取組み状況について
- ② 第2次山形県循環型社会形成推進計画（ごみゼロやまがた推進プラン）  
平成30年度事業展開について

##### 【事務局】（資料1～3により説明）

### <質疑・応答>

質問等なし

##### (2) 協議

平成30年度ごみゼロやまがた県民運動 産業部会展開方針について

- ・各委員の所属団体における3R推進に向けた活動状況（資料5）

##### 【鈴木委員（陪席：河合委員）】

29年度は、やまがた環境展に出展した。会員企業199社へ出展依頼と当日の参加を呼びかけた。

メールマガジンを利用し、会員企業への案内などはメールを利用することでコピー

用紙の削減に努めた。

当協議会総会後に企業等の交流会を毎年6月5日に行っている。今年度は65名に参加者いただいた。環境省のホームページにダウンロードできる3010運動普及啓発用の三角柱のポップがあったので、各テーブルに二つずつ設置し、司会からも3010運動についてアナウンスしてもらい呼びかけた。その結果、見事に食べ残しがなかった。料理については、約10年事務局をしているが、毎年同じ量を発注している。今年は量が足りなかったのか心配になるほど食べてもらえた。一声かけるだけで違う。会員企業に3010運動を知ってもらってよかった。

来年度も今年度と同じ活動をしていく。

#### 【黒澤委員】

29年度は、やまがた環境展で展示ブースを出展した。産業廃棄物処理工程や農業用ビニール袋等のリサイクル製品やリサイクル方法等のパネルを展示しPRした。毎年実施しているリサイクル自転車を選定で23台提供した。

県内各総合支庁環境課と連携し、産業廃棄物啓発支援事業を実施した。

各地区不法投棄防止対策協議会が行う事業に参画・支援を行った。

30年度も29年度と同様の活動を行う予定だが、産業廃棄物啓発支援事業は打ち切りになる。

#### 【安喰委員】

印刷済みの用紙や古紙等を分別回収し、リサイクル活動に努めています。また、ごみの分別も行い、ごみ削減活動も行っている。これらは来年も継続していく。

3010運動について、私が司会進行をする時は乾杯前に声掛けするのですが、乾杯するとすぐに立ち上がってしまい、なかなか周知徹底ならない。環境保全協議会さんが紹介した三角柱を置くことで立ちづらくなり、効果的なのかと思ひ参考にしたい。できるだけ残さない工夫をしていきたい。

#### 【澁谷委員（代理：佐原専務理事）】

社会貢献活動の一環で、ごみゼロに関係する事業を行っている。例えば米沢地区では、米沢南陽道路の清掃活動、米沢総合公園周辺の清掃、国道13号の栗子峠にある駐車場の清掃を行った。新庄地区では、ふるさとの川愛護支援事業で、升形川周辺の清掃や堤防の草刈りを行った。協会の企業だけではなく地元の小中学生と一緒に啓蒙を図りながら行っている。山形地区では、春には、双月橋から馬見ヶ崎橋までの馬見ヶ崎川周辺のごみ拾いを行い、秋は日本一の芋煮会フェスティバル前日に会場周辺のごみ拾いを行っている。庄内地区では、鶴岡では鶴岡公園参道の石畳の清掃を行っている。酒田では河川敷のごみ拾いを行った。2tトラック20台分集めた。

#### 【庄司委員】

山形県再生資源商工組合では前年度より、定期総会時の会食について、食べ切りを心掛けるためオーダー制を行っている。各事業所で行う交流会では、料理の発注量の見直しや食べ切りの声掛けをしてから会食を始めるようにしている。

各事業において、コピー用紙の裏紙利用や不必要なシュレッダーの使用を中止するように呼びかけている。なるべくリサイクル率が上がるよう、上質紙として分別するように指導している。

来年度については、今後の会議で詳細を決める予定ですが、29年度に取り組んだ事項については再度取り組んでいく予定。加えて、産業廃棄物収集業者も多いので混合廃棄物として収集しているものについて、契約している排出企業に内容物の仕分けをしてもらえるよう声掛けすることを組合として考えている。

#### 【丹野委員（代理：細川）】

次の三つの取組みを行った。一つ目は、廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減、廃棄物の適正処理の推進、廃棄物の不法投棄の防止。二つ目は、宴会時の食べ切り運動、3010運動の呼びかけ、三つ目、裏紙の利用とFAX用紙の出力削減に取り組んできた。

来年度は29年度と同じ活動に取り組む、その他に、災害時体制の構築として、山形県との「災害一般廃棄物の収集運搬に係る協定書」に基づき、被災市町村及び関係団体と連携し、災害廃棄物処理体制を構築することを活動目標とする。

#### 【長谷川委員】

県内各保健所単位の七地区で食品衛生責任者という免許の更新時に講習会を受講しなければならない。講習会で廃棄物処理の講義を行っている。

当団体は任意の加盟。必ず入らなければ免許の更新ができないわけではない。協会に入らなくても良いという風評が最近感じられる。協会の活動で、食の安全安心や廃棄物の減少などが食品衛生指導員の地道な活動で守られているということを行政が補佐してくれるしくみがないと協会の啓蒙活動にも限界があると協会の会議でも意見があった。任意と強制行政と難しいところだが、行政でもいい方法がないか検討してほしい。

3010運動について、環境保全協議会の話しで実際効果があると成果がでていますが、参加する立場から言えば、30分座って食事をするのは無理がある。10分でも1010運動でもよいのではないかと思う。

#### 【保科委員】

3010運動について、女性部だけの会議であれば良いが、男性も一緒にの会議だと30分は難しいけれども今後も声掛けしていく。3010運動よりペットボトルを利用した生ごみの水切りの方が女性にはできると思い、8月に行った置賜地区3市5町の「女性のつどい」で県のパンフレットを配付し、三角コーナーがある家庭ではぜひ実施してくださいと話した。そうすればごみゼロ運動に協力していることになるのでぜひやってみましょうと声掛けした。12月に行った研修会でどれ位の方が実施したか聞いたところ、半分の方がペットボトル置いていた。

「JA女性 エコライフ宣言」に基づき、マイ箸の持参を行っており今後も継続していく。

「もったいない」を「ありがとう」に変えるフードドライブを初めて山形県で実施した。すごい量が集まった。県全域では大きすぎるので、地元の町で年1回3カ年計画で行いたいと考えている。

#### 【山口委員】

29年度は28年度の総会で決議した取組みを継続して推進した。食材納入時に出る発泡スチロールや段ボール箱は納入業者に持ち帰ってもらい再利用を促した。毎日たく

さんの発泡スチロールや段ボールが持ち込まれている。旅館では再利用が難しいので持ち帰ってもらい再利用してもらうようにしている。

お客様に一声かけて必要な方にだけ包装を行うなど売店での過剰包装をしないよう徹底した。

紙類は分別して再利用に努めた。

ペーパーレス運動、進んできてはいるが旅館ではまだ無駄が多い。料理の見栄えや季節感を出すために使用する和紙などはごみになるだけなので、なるべく使わないでおいしい料理を作るよう心掛けた。

3010運動については、旅館側から強制することは難しくなかなか進まない。幹事さんとの打ち合わせの中で進めていきたい。

食品ロス削減のセミナーなどに参加し意識付けすることで実践していきたい。

- ・ 欠席委員の活動状況について

【事務局】（資料4により説明）

- ・ 平成30年度ごみゼロやまがた県民運動 産業部会展開方針について

【事務局】（資料5により説明）

#### 【黒澤委員（部会長）】

事務局の説明のとおり、まだまだ取り組まなければならない部分がある。

平成30年度ごみゼロやまがた県民運動産業部会展開方針として、紙ごみ削減・リサイクル運動、食べきり運動、環境にやさしい商品の優先購入運動の3つを展開方針案として総会に提出することでいかがか。

#### 【各委員】

異議なし

#### (3) その他

なし

#### 4 その他

【事務局】 委員改選、今後のスケジュールについて説明。御礼。

#### 5 閉会